



2022年11月11日

各位

会社名 ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 足立 秀之
(コード番号：6698 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 滝沢 義信
(TEL. 03-6402-4500)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日に公表した2023年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,070	百万円 560	百万円 560	百万円 370	59円00銭
今回修正予想（B）	3,610	230	260	130	20円93銭
増減額（B－A）	△460	△330	△300	△240	-
増減率（％）	△11.3%	△58.9%	△53.6%	△64.9%	-
（ご参考） 前期実績	3,979	674	691	463	73円99銭

2. 業績修正の理由

当第2四半期の連結累計期間における当社グループの業績は、新型コロナウイルス感染症対策が進み、国内営業活動が積極的にできたことで車載用部品、民生機器用部品向けの電子部品及びコネクタ検査用途を中心に商談が進んだ結果、受注高は前年同期比+8.3%、また、当第2四半期末受注残高は前年同期末対比+62.4%増と堅調に推移しました。しかしながら、前年同期との対比におきましては、スマートフォンの電子部品検査用大型案件の設備投資が一巡したこと、また、中国におけるゼロコロナ政策に伴うロックダウンの影響が響き減収となりました。

第3四半期以降の業績につきましては、上記のとおり前年同期末と対比し、第2四半期末受注残高の増加分が売上に寄与するものの、半導体不足や原材料価格の高騰などの影響により電子部品や装置メーカーの設備投資に対する慎重な姿勢が見受けられます。従来、年明け以降はスマートフォンのモデルチェンジ用途を中心に大型案件が増加する傾向にありますが、現時点では見通せないため、2023年3月期通期連結業績予想につきましては、2022年5月10日に公表した数字を修正いたします。

なお、半導体不足解消等により、設備投資は徐々に改善に向かうと見込んでおり、また、新規用途開拓を一層推進することで2022年5月10日に公表した来期以降の中期事業計画につきましては変更ありません。

業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提と予測に基づき作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。状況に変化が発生した場合は速やかに公表いたします。

以上